



Twitter 開設中！

@jtsue\_yamanashi

2021.6.8 No.50

## もうすぐ新型コロナウイルス ワクチン接種が始まる見込みです。

新型コロナウイルスワクチンについて職場などの「職域接種」が6月21日から始まり、多くの企業や準備や検討に入っています。

JR 東日本でも車掌をはじめ、お客さまと接する社員に接種を優先的に行う検討をしているとのことです。

(2021年6月2日 朝日新聞より)

新型コロナウイルスの感染が世界で確認されてから、間もなく1年半が経とうとしています。世界中でワクチン接種が始まっており、JR 東日本で働く多くの仲間がワクチン接種を待ち望んでいることだと思います。

ワクチン接種を受けることは感染防止のために大切なことですが、接種後のことについても一人ひとりが理解する必要があり、万一、副反応が出た場合の対処についても考えていく必要があります。

ワクチンの副反応では、

	1回目	2回目
37.5°C以上の発熱	3.3%	38.5%
倦怠感	23.2%	69.6%
頭痛	21.4%	53.7%

が報告されています。(2021年6月5日 朝日新聞より)

特にコロナ禍において、体調不良時には、無理に出勤させてはならないように各企業が行っています。ちなみに一部の企業では、副反応が出た際に使用できる「**ワクチン休暇**」(有休)の導入を発表しています。

(一部紹介)

ソフトバンク、山陰合同銀行

副反応が上記の比率で報告されていることや、ワクチンの副反応が発生した際、安心して休めるようにする観点から、JR 東日本においても、通常の「年次有給休暇」とは別に「**ワクチン休暇**」(有休)を導入するべきではないでしょうか？

### ワクチン接種後の休暇制度の導入など、安心して働ける

### 環境をつくっていきましょう！

